

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時 (平成18年11月30日)</p>	<p>設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行い、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>設置認可時における留意事項を受け、設置の趣旨・目的等を活かし計画を確実に履行するために、すでに設置して大学院開設準備を進めてきた「研究科設置準備委員会」を設置認可日以降8回開催し、その目的等が教員の共通認識となり設置計画に基づき履行するよう継続し、計画を実行できる環境を整備してきた。4月の設置以降は、毎月第1火曜日に研究科委員会を開催し、その履行進捗を確認し、実行するよう努める。</p> <p>また、充実した教育研究活動を実践するため、授業の受講に加え、TA及びRA制度を整備して、授業を受けるだけでなく、自身が教える立場として授業に参加し、自らの研究課題を自己点検でき、教員との連携も進めることができるようにしている。(前期についてはTA希望者27名全員を採用。RAも採用予定。後期は改めて採用準備を行う。)</p> <p>さらに、学術の理論及び応用を教授するために、これまで不定期で本学教員間における最新の研究内容の発表および情報共有を目的として行っている「バイオセミナー」を毎月1回(第4火曜日)の定例開催とする予定である。教員は、最新の研究内容を報告するとともに、参加した教員に加え、大学院生等にも公開し、互いのディスカッションにより、より高度な研究活動へと目指すものである。最終的には、それらの成果を質の高い大学院教育へと展開させていくよう努める^⑩</p>	<p>該当なし。</p>

7 その他全般的事項

<バイオサイエンス研究科 バイオサイエンス専攻（博士課程前期課程，博士課程後期課程）>

（１）設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
<p>①大学院棟について そして、極めて学際的かつ高度なバイオサイエンス研究を行うことから、その研究支援として研究用のカラーコピー機も同時に設置する。</p> <p>②図書整備について 本学に既に設置している図書情報センターの図書整備に加え、大学院棟にも必要な専門誌等を談話室兼資料室に整備する。バイオ系単科大学としてバイオサイエンス学部を基盤とし、1研究科1専攻という本学の利点を最大限に活かして、大学院関連図書等についても学部学生に利用開放し、本学で学ぶすべての学生等の教育研究に有益となるように整備を図る。</p>	<p>そして、極めて学際的かつ高度なバイオサイエンス研究を行うことから、その研究支援としてPC4台を大学院生共同使用可能機器として同時に設置する。</p> <p>本学に既に設置している図書情報センターの図書整備に加え、大学院棟にも必要な専門誌等を談話室兼資料室に整備する。バイオ系単科大学としてバイオサイエンス学部を基盤とし、1研究科1専攻という本学の利点を最大限に活かして、大学院関連図書等についても学部学生に利用開放し、本学で学ぶすべての学生等の教育研究に有益となるように整備を図る。 なお、図書整備については、大学院生および学部学生相互にとってその利便性を考慮し、図書情報センターへの図書整備を優先的に行い、教育・研究支援環境を整える。</p>

（２）自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 （別紙のとおり）</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年9月 公表予定 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書を刊行し，関係企業、関係諸機関及び希望者に配布。 ・大学ホームページ上に公開予定（平成22年9月予定） <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。
